

風水害時における自主防災活動について

令和8年6月編集版

【前提事項】本市に想定される自然災害

地震災害

建築物等の倒壊、火災
停電、断水、通信障害 等

土砂災害

急傾斜地の崩壊、（地滑り）

風水害

浸水、風倒木、強風による建物被害
飛散物による被害、停電（断水）等

土砂災害

急傾斜地の崩壊、**地滑り**
土石流 等

風水害の特徴等と自主防災活動のポイント

◎事前に予想ができる（気象予報等）

⇒事前の準備ができる→被害の軽減

活動のポイント①：事前の確認・点検・連絡等

◎時間経過により状況が徐々に悪化（⇒やりやすい面も）

⇒「正常性バイアス」が働きやすい→逃げ遅れ

活動のポイント②：避難すべき住民に直接・個別に避難を促す

「地域における災害対処の手引き」について

自主防災会の役員や自治会の防災担当役員等の方々を対象に作成

従来の資料：多くが各家庭や個人を対象？

国の資料：本市の特性に合わない？

「風水害編」 「地震災害編」 「地区防災計画編」

時間経過に沿って実施すべき事項を記載

自治会・自主防災会としての対処マニュアルや「地区防災計画」の作成の参考

地域の実際の状況に合わせた、具体的な計画やマニュアルなどの整備をお願いします

地域における災害対処の手引き
(風水害編)

令和8年6月
生駒市役所危機管理課

地域の計画やマニュアル等の確認

- どこにあるのかわからない
- そもそも存在が認識されていない例も（申し送りの不備）

連絡手段（連絡網）の点検

- 古くなっていませんか？

「避難行動要支援者」支援員の確認
(避難行動要支援者避難支援事業)

- ◎不在になっていないか？支援は可能か？

○各自の役割の（再）確認

○担当者相互に連絡・注意喚起（連絡網の点検を兼ね）、必要な打ち合わせ等
⇒不在者等がある場合、役割を調整

◎個々の避難行動要支援者に対する注意喚起（状況確認） ←各支援員←役員

◎避難が必要な世帯の確認・注意喚起（状況確認）←連絡網の点検

情報収集手段の点検・確認

★避難が必要な世帯の確認（ハザードマップ）

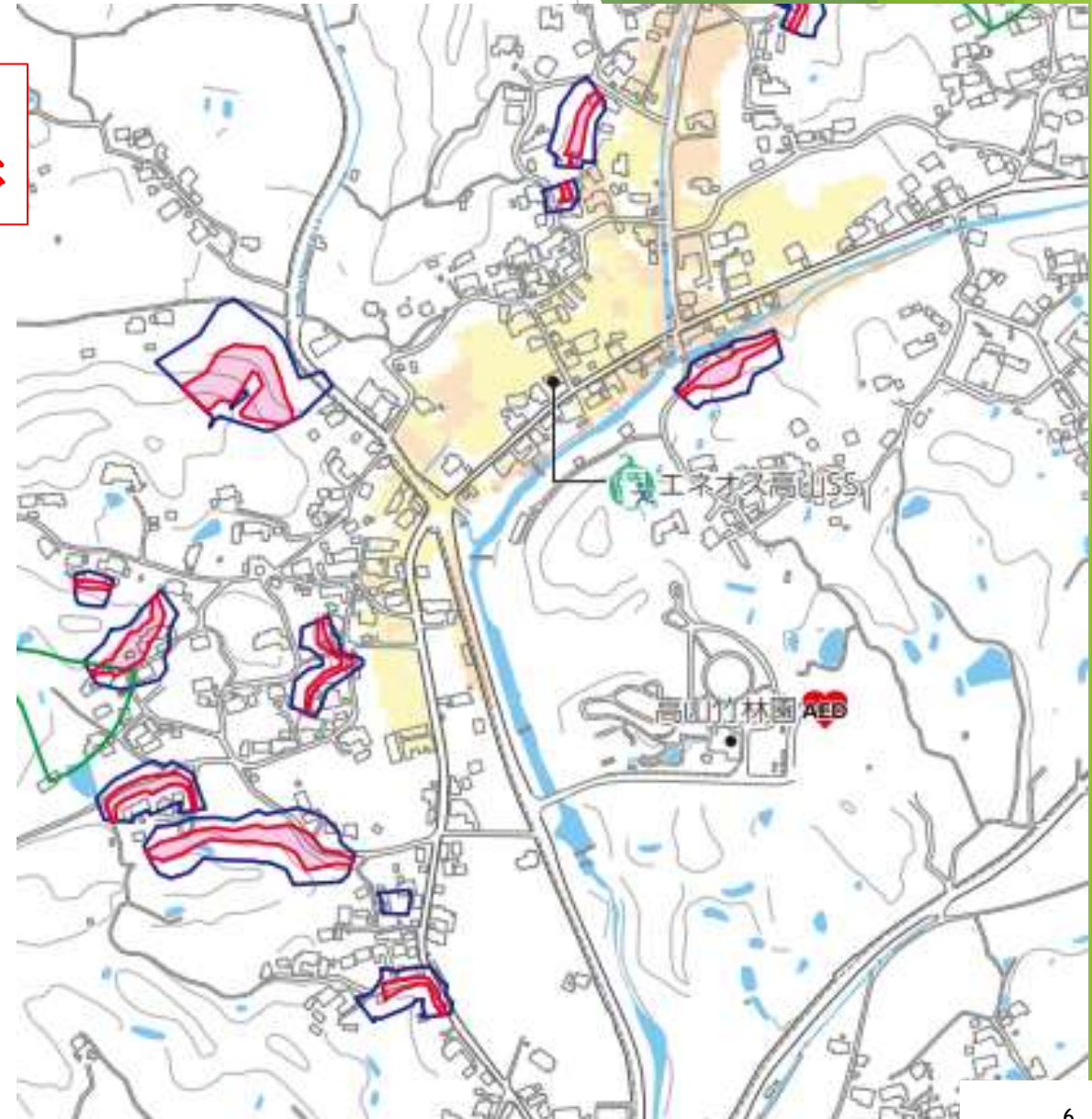
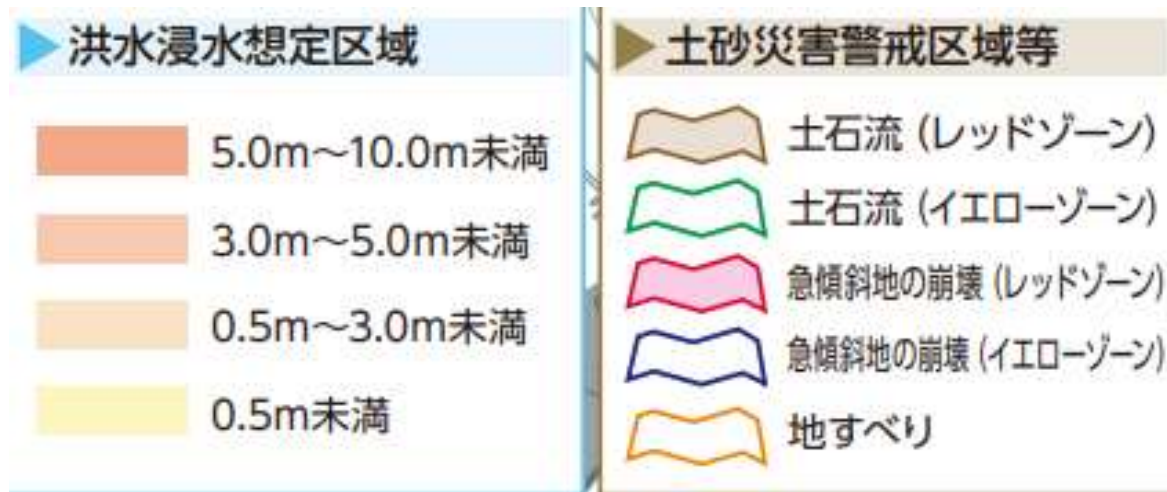
「避難が必要な世帯」とは？

原則 ●浸水想定区域
または●土砂災害警戒区域等
にある世帯

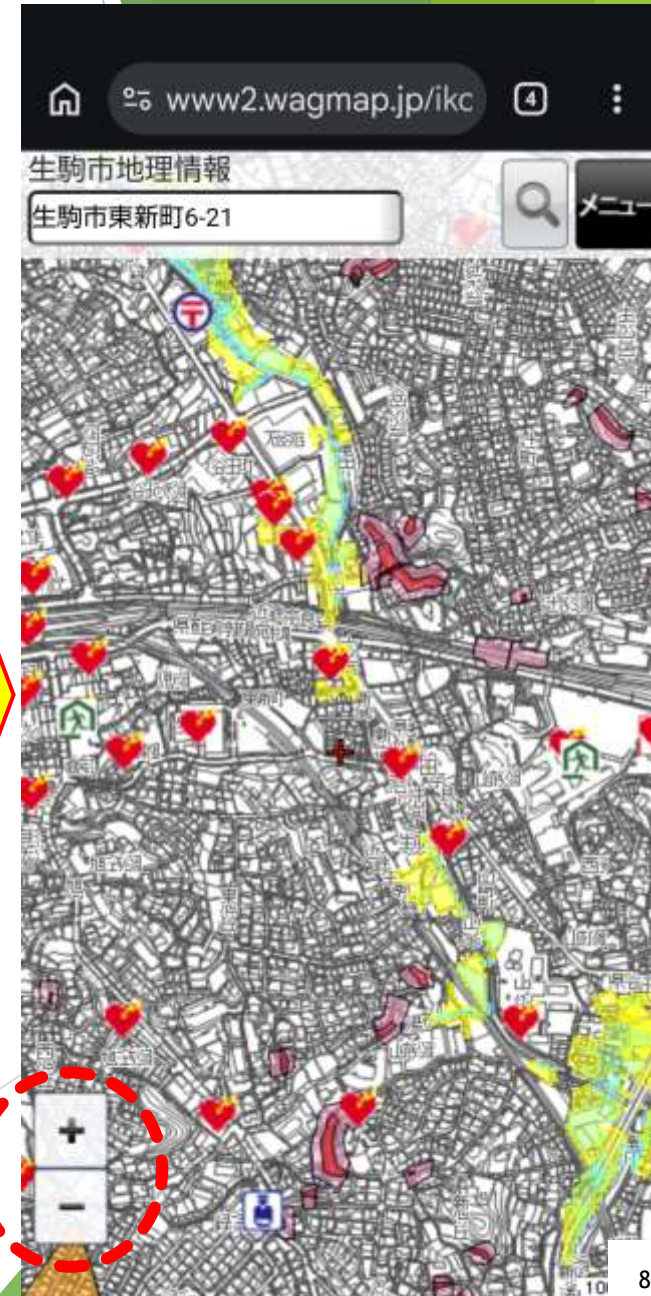
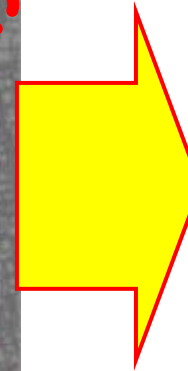
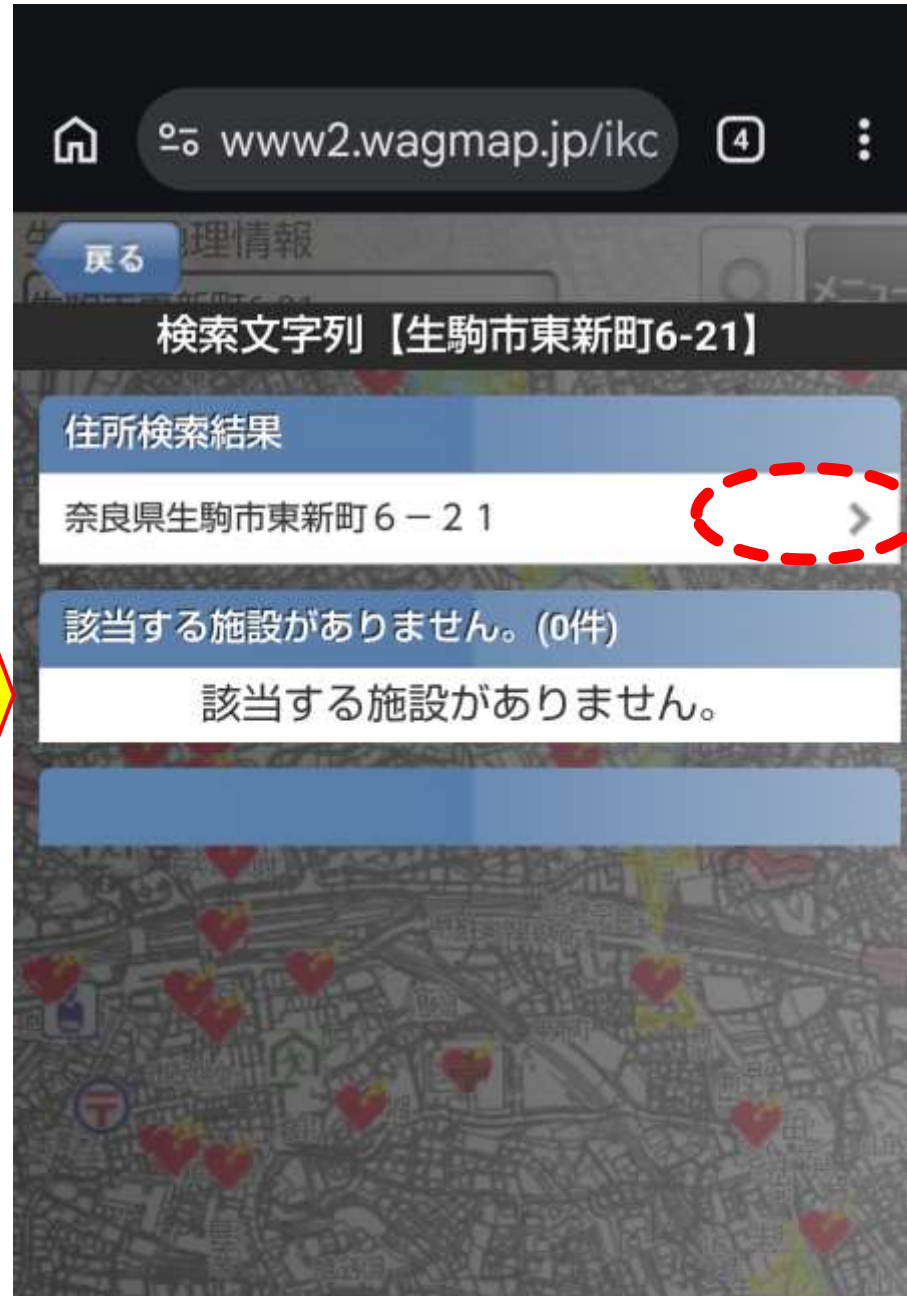
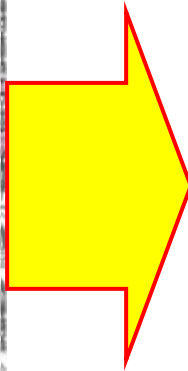
避難情報の
発令対象世帯

その他の個別の事情は個人で判断
⇒必要により自主的に避難

（現場で消防等が直接指示することもある）



★ハザードマップ（WEB版）の確認（2）



★避難が必要な世帯の確認（WEB版ハザードマップ）

凡 例

【土砂災害が想定される区域】

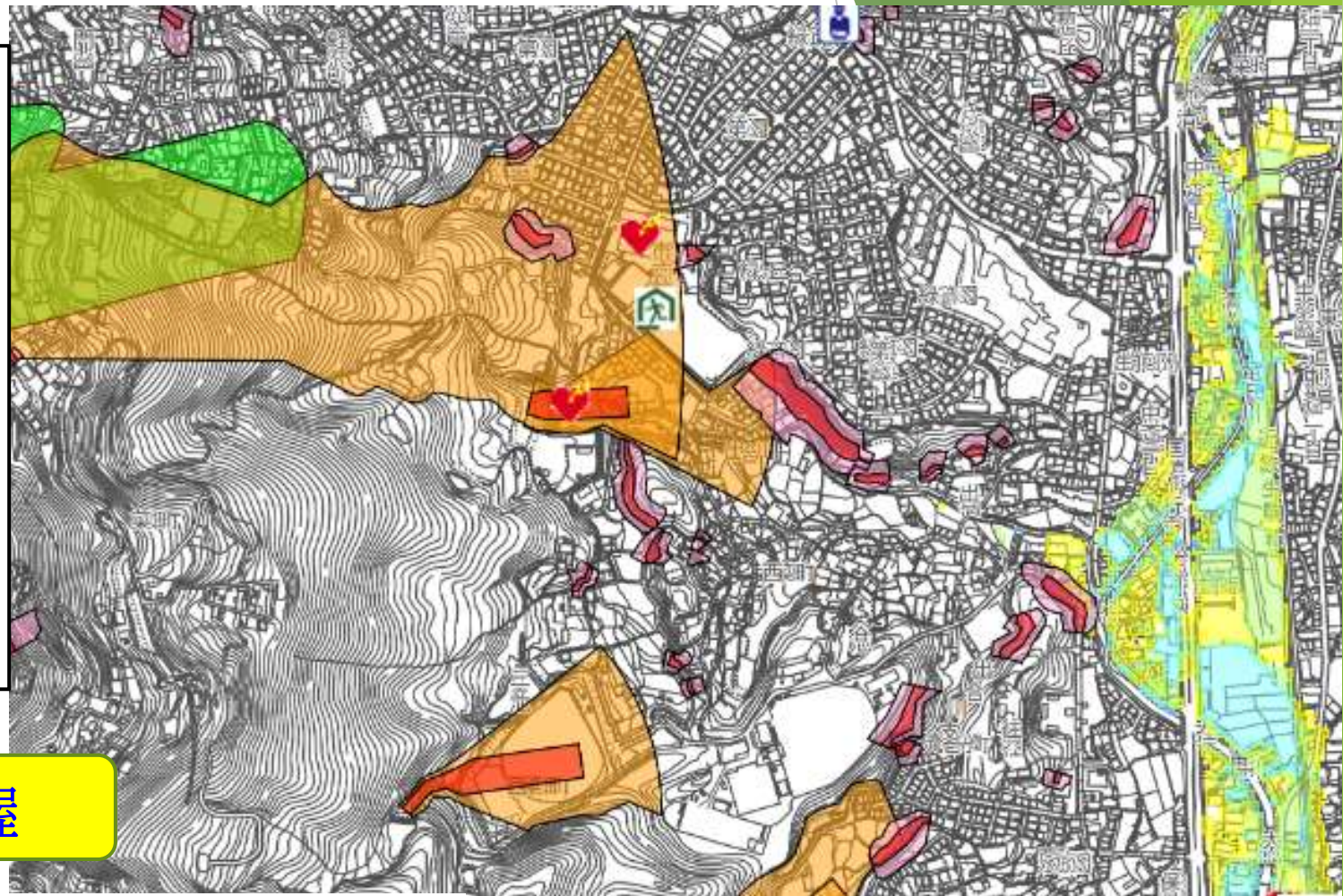
- | | |
|---|--|
|  土砂災害特別警戒区域（急傾斜地） |  土砂災害警戒区域（急傾斜地） |
|  土砂災害特別警戒区域（土石流） |  土砂災害警戒区域（土石流） |
|  土砂災害警戒区域（地滑り） | |

【浸水が想定される区域】

- | | |
|---|--|
|  0.5m未満の区域 |  0.5m～1.0m未満の区域 |
|  1.0m～2.0m未満の区域 |  2.0m～5.0m未満の区域 |

【その他の表示】

-  避難所兼緊急避難場所  緊急避難場所  AED施設



どの世帯が平素から具体的に把握

◎特に避難に時間を要する**避難行動要支援者の有無**等

高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児＋家族等の状況

平時のうちに対象世帯と**避難開始時期**を把握（リスト化）➡ **当時の状況の確認**が必要

★避難行動判定フロー

土砂災害・風水害の避難行動判定フロー

ハザードマップで自宅がある場所に色が塗られている

はい

被災の可能性あり。原則、
自宅の外に避難が必要

はい

避難に時間がかかる人がいる

はい

警戒レベル3で避難



いいえ

原則、避難の必要なし。停
電や断水に備える

いいえ

警戒レベル4で避難



避難情報の
発令対象者

原則、避難情報の
発令対象外
避難不要

安全な場所にある
親戚・知人の家や
民間の宿泊施設を
含む

対象となる人
(お宅) は？

対象となる
お宅は？

その他の天候悪化前に実施しておくべき事項

道路側溝や排水溝の点検・清掃

◎大雨・台風シーズン前に、地域の清掃などに併せて
（自治会の担当役員等と調整し計画的に）



屋外物品の点検・撤去の呼びかけ

◎台風の接近が予想されている時



防災倉庫等の資機材の点検

★天候悪化前

台風の接近により暴風圏に入ることが予想されている時で
風雨が強まる前（遅くとも暴風圏に入る概ね24時間前迄）

気象庁が**早期注意情報**で**警報級の可能性**を発表したとき
（大雨レベル1）



気象庁HP
「あなたの街の防災情報」

 **発表中の防災情報**

大雨
[レベル1]

早期注意情報

奈良県北部	10日	11日				12日	13日	14日	15日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
大雨	-	[中]				-	-	-	-
暴風(雪)	-	-				-	-	-	-

平素から準備が必要

避難情報への注意

大雨警報の発表 → 「警戒レベル3 高齢者等避難」発令の可能性

- ◎台風の接近などで予め夜間に天候悪化が見込まれる場合
天候悪化前の明るい時間帯（**警報発表前**）に「警戒レベル3 高齢者等避難」発令

自主避難者（避難情報発令前に避難する人）の把握

事前に市役所に連絡→**避難可能な指定緊急避難場所を案内（親戚・知人宅等も推奨）**

- ◎被害が発生した際の不要の混乱や**無駄な搜索・救助活動**の発生を避ける

避難行動要支援者支援の確認

支援員に連絡（確認）→「避難が必要な世帯」の避難行動要支援者に**準備を促す**

◎同報系防災行政無線のサイレン：10秒 **3** 回×3回反復（続いてメッセージ放送）

避難情報の収集（確認）伝達

【確認のポイント】

◎対象地区に含まれているか？

◎避難情報の区分（**土砂災害警戒区域**か／**浸水想定区域**か）・種別（警戒レベル※）は？

※：「警戒レベル3 高齢者等避難」→「警戒レベル4 避難指示」の順とは**限らない**

➡ 該当する高齢者等、避難に時間を要する世帯に伝達し**避難を促す**

➡ 避難先の把握（指定緊急避難場所以外の親戚・友人宅、宿泊施設等）

避難行動要支援者の避難支援 （支援員が決まっている世帯）

支援員に連絡

→「避難が必要な世帯」の**避難支援実施を確認**



◎同報系防災行政無線のサイレン：10秒 **4** 回×3回反復（続いてメッセージ放送）

避難情報の収集伝達・周知

◎該当区域（**土砂災害警戒区域／浸水想定区域**）の
全世帯に伝達し避難を促す



被害の発生または発生の兆候を察知した場合

○市対策本部または消防（119番）に通報（察知した各個人で通報）

○地域で情報を共有し注意喚起

○状況により、**必要な世帯に早急な避難を促す**（≡「警戒レベル5 緊急安全確保」）
近寄らないよう近隣住民に伝達・周知

◎住家被害が発生した場合 →状況により**集会所等に一時収容**を検討

◎同報系防災行政無線のサイレン：10秒 **5** 回×3回反復（続いてメッセージ放送）

災害が**既に発生**または発生が**切迫**し安全な避難は困難

避難情報の収集伝達・周知

該当区域内で未だ避難していない世帯に対し、**電話等**で

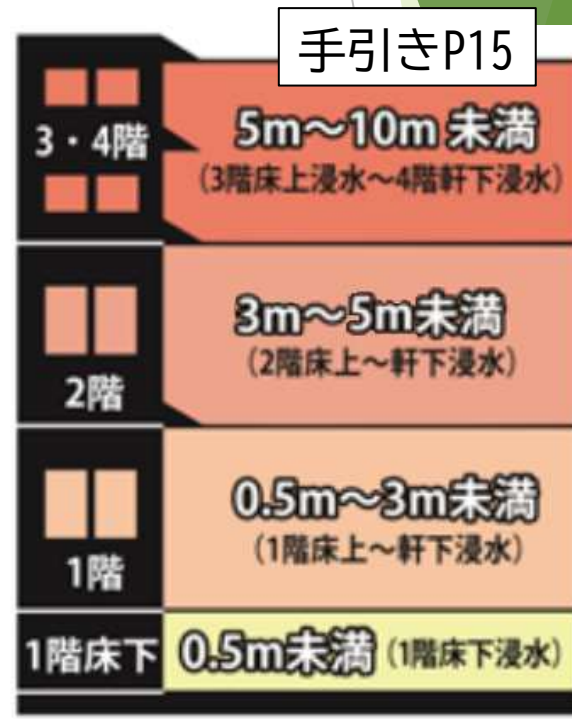
- ①**近くの安全な場所**（建物等）への避難を促す
- ②（①が**困難な場合**）自宅内での**垂直避難**を促す
 浸水想定区域：**想定浸水高**より高い階
 土砂災害警戒区域：最低2階以上で斜面から遠い部屋

集会所等の緊急開放（安全な場所にある場合）

「**近くの安全な場所**（建物等）」として開放⇒市の対策本部に連絡

●**自治会・自主防災会**で管理・支援をお願いします。（**物資・資材**の準備）

大きな被害があり**多数の避難者が発生**した場合は地震災害に準じて対応（次回）



警戒 レベル	市町村が発表	気象台が発表（防災気象情報：気象警報・注意報等）				住民が とるべき行動	
	避難情報等	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水		
5	緊急安全確保	5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！							
4	避難指示	4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人 は早めに避難、避難の 準備など
2	(気象台が発表する情報→)		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避 難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど）
1	(気象台が発表する情報→)		早期注意情報				災害への心構えを高める

新しい防災気象情報について（2）

「洪水」「大雨」「土砂災害」
「高潮」の4種類に整理
(生駒は大雨と土砂災害のみ)

レベル5〇〇特別警報

レベル4〇〇危険警報

レベル3〇〇警報

レベル2〇〇注意報

5段階で呼称統一
「レベル」併記

警戒 レベル 相当 情報	防災気象情報			
	洪水に 関する情報	大雨に 関する情報	土砂災害に 関する情報	高潮に 関する情報
5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2 相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

警戒 レベル	住民が とるべき行動	避難情報等
5	命の危険 直ちに 安全確保！	緊急安全確保
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は 避難	高齢者等避難

行動を促す情報

行動判断の参考となる情報

対象範囲
を指定
市が発令

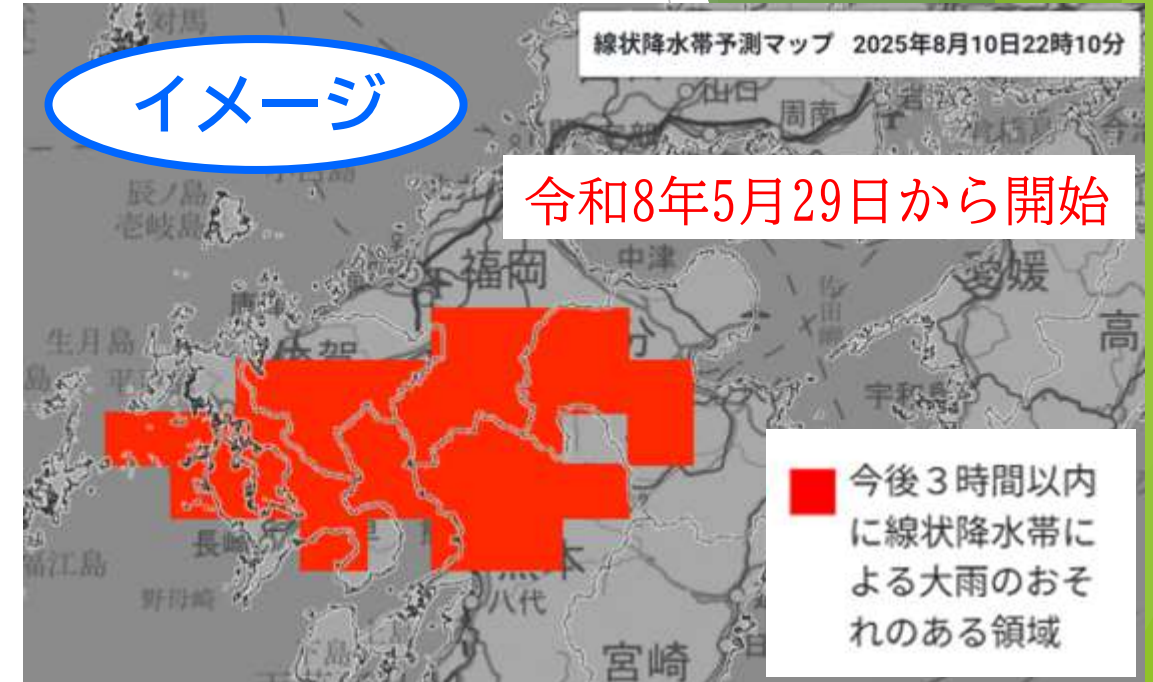
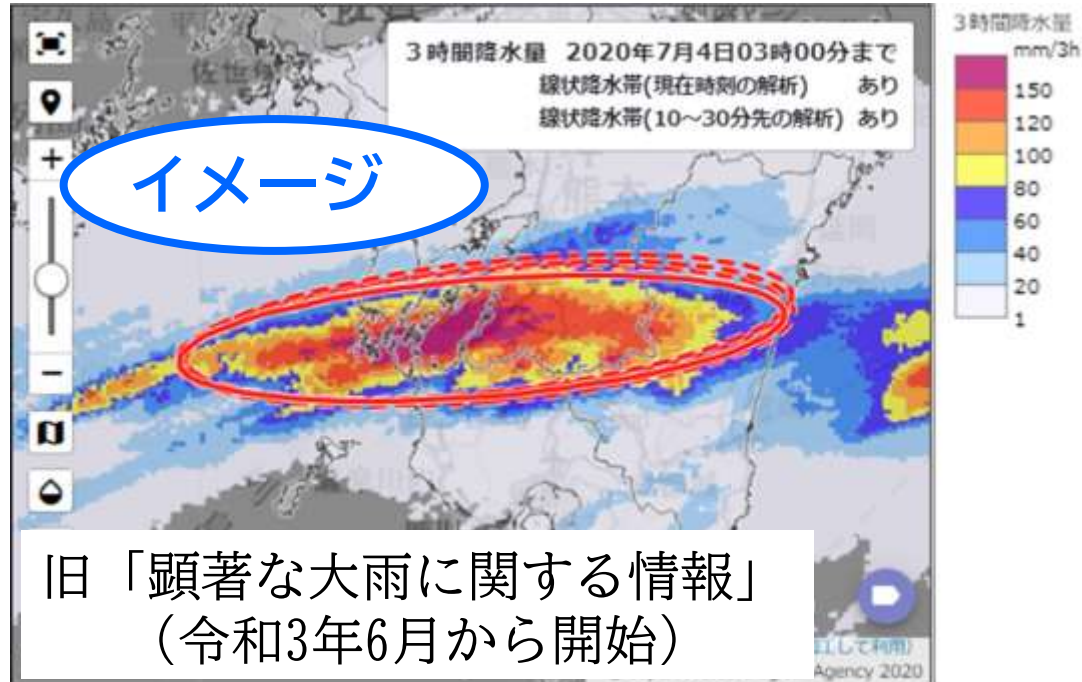
市内一律
気象庁が
発表

警戒 レベ 相当 情報	防災気象情報			
	洪水に 関する情報	大雨に 関する情報	土砂災害に 関する情報	高潮に 関する情報
5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2 相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

防災気象情報（レベル3以上）の発表
⇒どこかの地区に避難情報が発令される可能性大

「防災気象速報(線状降水帯**発生**)」

と

「防災気象速報(線状降水帯直前**予測**)」

◎線状降水帯：線状の降水域が**数時間**にわたって**ほぼ同じ場所に停滞**して顕著な大雨(所謂「集中豪雨」)に

線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で**実際に降り続いている**状況

市内の浸水想定区域・土砂災害警戒区域に
「警戒レベル4避難指示」(～警戒レベル
5緊急安全確保)が発令される可能性大

線状降水帯が**発生する危険性**が高まった際に
発生の2～3時間前を目標に発表

市内の浸水想定区域・土砂災害警戒区域に
「警戒レベル3高齢者避難」が発令される
可能性大

P10 避難行動要支援者への支援について

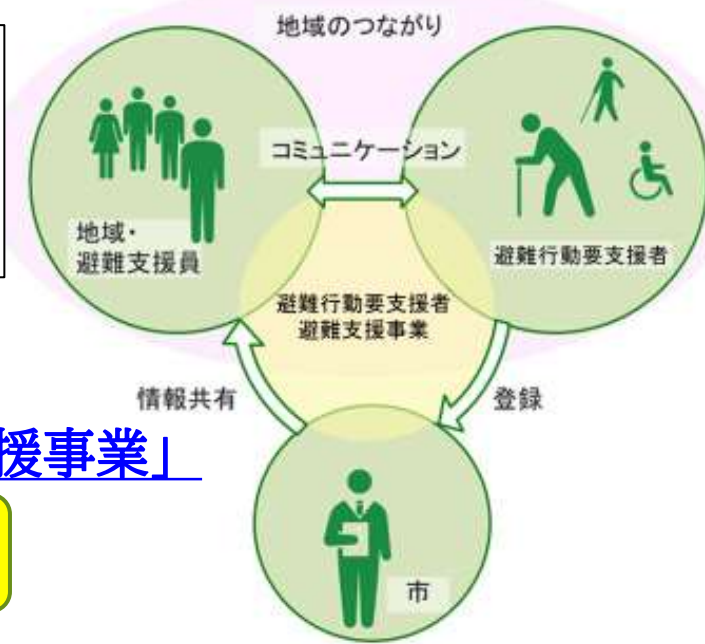
◎「避難行動要支援者」とは？

自力での避難が困難かつ**家族や知人による支援も難しい人**
高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児等

避難支援に必要な情報を平時から**支援関係者**に共有

(自治会・自主防災会、避難支援員、民生・児童委員等)

災害時の安否確認や避難支援、避難所運営に活用＝「**避難行動要支援者支援事業**」



本人の希望により「**避難行動要支援者台帳**」に登録

要支援者1名に**支援員を2名程度**を本人が選定

「**個別避難計画**」を（市が関係者と協議し、または本人・家族で）作成

⇒自治会と資料を共有

◎**情報伝達支援・安否確認と避難支援**（支援員が不在・対応できない際のフォロー）

⇒避難支援の際は、**補助具や薬の携行等を忘れずに**（個別避難計画を参照）

※対象は土砂災害警戒区域・浸水想定区域居住者

未登録の方にも地域で注意を

風水害の特徴等と自主防災活動のポイント（再）

◎事前に予想ができる（気象予報等）

⇒事前の準備ができる→被害の軽減

事前の確認・点検・連絡等

◎時間経過により状況が徐々に悪化

⇒「正常性バイアス」が働きやすい→逃げ遅れ

避難すべき住民に
直接・個別に避難を促す